CAUTION!
ADULT ONLY!
CAUTION!
CAUTION!
CIRCLE OUTERWORLD
MIDGARD
2008 WINTER
ADULT ONLY!
CAUTION!

みんなの望み？

——そう

姉さんが魔族から神族になるのは、みんながそれを望んでいるから…

父さんや私やスクルドや…

うううん

これから会うたくさんの地上の人々も…

きっと女神としての姉さんを望んでいるわ

……

でもさ…
もし人間が私に――
え？
ううん
なんでもない
もし人間が私に…
神性ではなく魔性を望んだら…
その時私は――
私は――

魔女だっ

そうだなウルド！

そうよ…

私は魔女…

あっ♥

おまえは魔女だっ！

あっ♥

淫乱な魔女なのォオオ♡

あっ♥

相手がガキだろうが俺達だろうが関係ねぇ！

チンポが付いてりゃそれで満足なんだよな！

あっ♥

そうっ好きっ♡

おチンポ大好きィイ♡

おおっ出るっ
出すぞっ
なかにイイイイ♥
いいワっ
膣内にっ
また膣内にィ
辛そうだな
アーサー
無理もない
わかるぞ
激しく心が
揺れているのだろう
あっ
あーっ♥
イクッ♥
おまえが慕っていた
ウルドがあの様な
淫乱で恥知らずな
魔女だったのだからな…
ドピュッ
ドピュッ
イクッ♥

今の心に素直になれ

私もオマエを処刑したくはないのだ

一言、魔女だと——

いやだよ…

ウルドを悪者にして僕だけが助かろうなんて……

はあ——っ

はあーっ

はあーっ

僕には出来ないよっ

アーサー…

はあーっ

神父さま、もうどうでも良いじゃないですか

そこまで私の事を…

そーそー しばり首のロープが一本から二本に増えるだけですよ

——でも今の私には…

ま…待って

は——!

は——…だめよオオ

あなたを裏切る事しかできない…

もっと

もっと

おちんちん

もっとおちんちん

誰のでもいいから…

あなたの想いに応えるために…

あなたのために…

んっ…

まだするのかよ

もう勃たねえよ

ああンだめよ

ホレがんばれよ

んっ

んっ

んっ…

だからもっと…

もっと淫らに…

ガリガリ…

！

誰だよ
こんな時間に
コラッ
わっ
オイッ
！
なんだよ
ソイツ
犬なんか
中に入れんなよ
しらねーよ
コイツが
勝手に……
ハッ
ハッ
ハッ

ほう…

ズチャッ

あっ♥

あン♡

ズチャッ

なによ
まだ元気なのが
いるじゃない

ハッ

ハッ

ハッ

ははっ

いいわ
あんたから先に
相手を――

え？

ハッ

ハッ

ハッ

オマエの
小便のニオイに
盛っちまった様だぜ

なに？

ちょっと
なによ
この犬！

悩ましい声を出しおって

相手してやったらどうなんだ？

な…

さっき言ったばかりだろう？

チンポなら何でもいいって

ぺちゃ

やっ

ぺちゃ

やっ

ぺちゃ

あっ

あっ

バ…バカなこと言わないでよ

誰がこんな犬なんかと…

ああっ

アーサー

よく見ろアーサー

この女の姿を！

人間ではお飽きたらずとうとう犬にまで喜んで尻を突きだし…

ぺちゃ

だめっ

ぺちゃ

ぺちゃ

あっ

やあっ

あろうことか交わりまで持とうとしている

これが――

ウソだっ

ウルドは人間だっ

人間がそんな事するわけないじゃないか

人間が…

スルワケナイ…

ウルド逃げてっ

ウ…

ソレナラ魔女ハ…

…ル…ド？

ハッ

ハッ

ぺちゃ

ぺちゃ

ぺちゃ

ぺちゃ

あっ♡

あっ♡

はあーっ

あっ♡

はあーっ

あっ♡

はあーっ

——！

おーー…

おおお…

魔女ダッタラ…

あっ
あっ♡
そこっ
じ……上手よ
あっ♡
ぺちゃ
ぺちゃ
ぺちゃ
あっ♡
イ……イイコね♡
ああっ
ぺちゃ
ぐちゅ
あっ♡
人間よりも長くて大きくて
何かの生き物がのたうち回ってるみたい♡
あーっ
スゴイ……
動きが速すぎるっ
犬の舌ってスゴイ……
あーっ
ぷるぷるしてるっ
もっとぷるぷるしてっ♡
ぐちゅ
ぐちゅ
ああああ〜っ

そしてコレが…

犬のおちんちん…

はあーっ

はあーっ

はあーっ

はあーっ

んっ…

地上生物の授業で見た事があるけど――

違う…

んっ…

んっ…

んっ…

んっ…

太い針金が入ってるみたいに硬くて…

それにこんなに大きくなるなんて…

ぴくぴくぴく

魔女にとっちゃオスのチンポなら何でも御馳走なんだろ

わはははっ

ウルド…

ウルド…もうやめてよ…

どうして…

どうしてそんな事するの？

それじゃあ本当に…

本当に…

はあーー

感じる…

はあーー

アーサーの心が…

はあーー

裏切らないで欲しいという願いが…

裏切る…

ウラギル…？

そうよ

人間に愛や夢や希望を与えて…

それを裏切るの

その時の人間達の絶望といったら…

ゾクゾクしちゃうわよぉ

裏切るって気持ちイイわよぉ

そう、私は…

ウルドちゃん♡

ウラギル

あなた人間のために…

ごめんねアーサー

はーっ

このコ

まだ満足してないみたいなのよ♡

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

はーっ

はーっ

はーっ

はーっ

私はあなた人間を裏切る——

さあ挿れて♡

あなたのおチンポ挿れてえ♡

ズッ…

あっ
うあっ
はいるっ
挿入るっ
はいるっ
うっうっ…
あアあアあアあ

すごい抽送（ピストン）！

ばすっ ばすっ ばすっ

小刻みでもの凄く速い！

激しく揺さぶられて

体に力が入らない！

呼吸（いき）が出来ない！

すげェ…犬と人間がやってるぜ

ハッ ハッ ハッ ハッ

あ〜〜〜♥ あ〜〜〜♥ あ〜〜〜♥

どうしよう

これイイ♡

イイー♡

ああ〜〜〜♥

いィィ〜〜〜♥

交尾…イイ♡

イイ〜っ♥

犬のチンポ

イイ〜っ♥

あっ

あっ

はぁはぁはぁはぁ

ガバ

オウ！

オオオオオウ

ガバ

ぴゅ

ぴゅ

ぴゅ

ぴゅ

ぴゅ

あはっ♡

出てるっ♡

はぁ〜っ

膣内で

なか

出てるう♡

はぁ〜っ

はぁ〜っ

ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
むくむく…
え？
なに？
膨らんでる？
ばいーん
きゃあっ
そ…
あ…
そうだった…
かはっ…
ちょ…
ちょっと待…
今の射精は第一射精…
クイ…
犬の交尾はこれからが本当の——
私、今イッたばかりで…

あっ…
この体制…
本当の交尾——
あ
あ〜〜っ
交尾結合になってからが本当の射精——
根元の亀頭球が膣内で膨張してペニスが——
あぁ〜〜っ
抜けないっ
おちんちん抜けないっ
射精てるっ
まだ射精てるぅぅ
あ〜〜っ
ペニスは膣内でさらに大きくなり延々と射精し続ける
あ〜〜っ
ロイ…

射精される度に今まで注ぎ込まれた男達の精液が…
ズンズンズンズン
オオオオオオ
ハッ
ハッ
ハッ
あっ
ああっ溢れてるっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
押し流され…洗い流され…
チンポ汁あふれてるっ
かれ犬の精液に塗り替えられていく
あっ♡
私の膣なかが犬の…
犬のチンポでまたイッちゃう
ああっイクッ
あっ♡
ううん私自身が…

ケモノに
なっちゃう――♡

おっ

おおおおオオオオオオ♡

ははは
犬に
イカされてるぜ

犬の汁と混ざって
グチャグチャだ

また小便を
漏らした
みてーだな

おまけに聴いたか
今の声

ああ、
どこのケモノかと
思ったぜ

!

ケモノ…

ケモノ…

ハッ

ハッ

ぴちゃっ

ぴちゃっ

ぴちゃっ

ぴちゃっ

ぴちゃっ

ハッ

ハッ

んっ

ぴちゃっ

ぴちゃっ

んっ

ケモノ…

んっ

ここ…

ここよね♡

この根元のところをこうすると…

しゅしゅしゅ

はあーー
あはっ♡
ステキ♡
あれだけ射精してもまだこんなに♡
あン♡
はあーー
はあーー
もうっこんな所に射精さないでよ
はあーー
んっ
ぴゅ
ぴゅ
はあーー
もったいない♡
ぺちゃ
ぺちゃ
ぺちゃ
ぺちゃ
おいおい…あめてるぜ…
おええ…

さあ早くっ
その大きさのまま
来て♡

ケモノ…
違うっ

ハ

あっ

ズリュ

ん♡

すごっ

ズリュ

さっきよりも
太くて長いィっ♡

おまんこの
奥にイィ♡

ズリュ

ケウルドは
ケモノなんかじゃ…

ない…

オウッ

オオオオッ

おっ♡

おおおおっ

オオ〜ッ

あぁ〜

オウォ

あ〜

はぁ〜あぁ〜

うぅん♥

ケモノ
なんかじゃ…

オ〜ッ

ガク

ガク

ガク

ガク

アオオオ♥

アオ…

オ〜ッ

ガク

ケダモノ！

オオオオ♥

オオオオ

こ…

こ…

この魔女め！

わかったよ神父様…

ウルドは天使なんかじゃない…

僕や村の人みんなを騙して悪の心に引き込もうとして…

ウルドは魔女だ

正真正銘の魔女だよ

はーー!

はーー

ア…アーサー…

ククククク…

よくぞ改悛してくれたねアーサー

縄を解いてやれ

私は信じていたよ

くやしいよ

あんな汚らわしい魔女に騙されていたなんて

いっそのこと…

僕の手で魔女を処刑してやりたいよっ

ほほう

それはいい

神もお許しになるだろう

さあ…

やりなさい アーサー

おまえ自身の手で…

魔女に正義の鉄槌を与えてやるのだ

なんでガキなんかに…

もし村の連中が何か言ってきたら、その時はガキを始末すればいい

なるほど さすが神父サマ♡

ウルド…

いや魔女め

よくも…よくも僕を騙してくれたな

村の連中にはまだウルドに好意を持ってる奴もいる

ガキが殺してくれた方が俺達には好都合だろ？

死んで…

アーサー

死んで神様に謝れ！

うっ

貴様っ

ドアを開けろ

ウルドを外へ逃がすんだ

さもないと神父様の首をかき切るぞ…

このガキッ

さあウルド立って！

早く逃げるんだっ

アーサー

僕は大丈夫だよ

どんな事があってもウルドを魔女になんかしない

アーサー

！

だから早く――

アーサーあぶないっ

アーサー

ドッ…

ふん

やはり一度でも堕落した人間は改悛することは不可能な様だな

少しでも信じてしまった俺が馬鹿だったよ

面倒だ
今すぐ二人まとめて
ぶっ殺しちまえ

悪魔に
憑りつかれた
奴等だ

理由は
どうにでもなる

そう…

あんた人間たちが
それほどまで
「悪魔」を望むなら…

わかったわ…

ん?

その望みを…

叶えてあげるわ

雷
光
召
喚
!

ドオオオオン

う…

ゴオオオ

うあああああ…

な…何が起こったんだ？

誰か…誰か助けろ

足が…

ジオオオ

火が…火がそこまで…

早く逃げた方がいいわよ

黒コゲになりたくなければね

！

逃げられないなら…そうね…

あんたが仕える神様にでも祈ったら？……

ザザザザ

そ…その姿は…

ま…魔女じゃない…

おまえは…おまえは…

悪魔だ！

ま…待ってくれ！

助けてくれっ

火が…！

火が…！

ゴオオオオオ

あわあああああっ

ウ…ウルド
ごめん…

はあー

僕のせいで
あんな非道い目に
あわせて…

はあー

はあー

ウルド…

しゃべっちゃ
だめ

大丈夫…

傷はすぐに治るわ…

謝るのは私の方よ

私が――

え？なに？

綺麗だ…ウルド…

はあ――

はあ――

はあ――

よかった…

やっぱりウルドは天使だったんだね

今の僕には片方しか見えないけど……

真っ白な翼がとても…

とても綺麗だ……

綺麗だよ
とても…
とても…
アーサー…

ありがとう

あなた人間が望んでくれるなら…

私は…

行っちゃうの？

うん…

どうしてさ

あの神父達ももういないし

僕はウルドの秘密は誰にも――

ごめんね

これ以上私がここにいたら…

またあなたや村のみんなに迷惑がかかるかもしれないわ

この肌の色もあるしね…

それに、私は天使でしょ

他にもたくさんの人々を幸せにしなきゃ…

そ…そう…

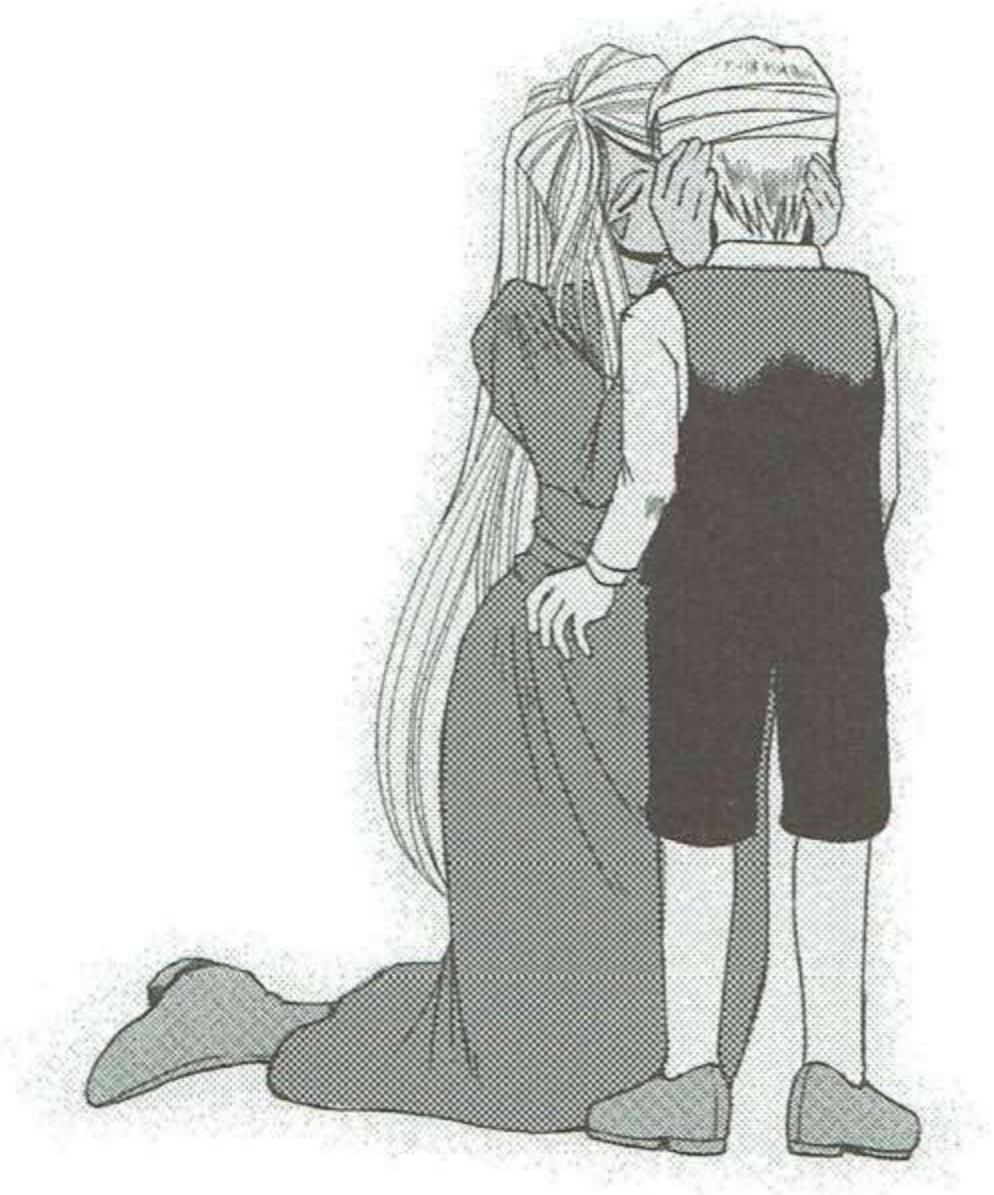
そろそろ出発しますが…

ええ、すぐ行くわ

また…

また会える？

私はいつもあなた人間をみているわ



あれで良かったの？

いいのよ

あの子に言った様に他の時代の人も幸せにしてあげなきゃね

そうでしょ?

私は――

女神なんだから

――それで次はどこへ行けばいいの?

それが…まず天上界で始末書を…

ええ!! なんで?!

だって、歴史干渉の恐れがある法術の使用は――

私たち女神はいつも人間のそばに…

毎度どうも千葉です。

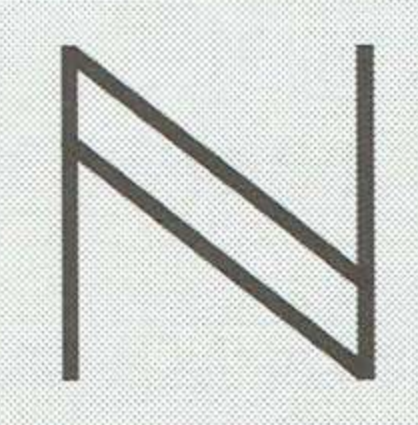
昨年冬からはじめてみましたこのお話ですが、一応今回でオシマイです。

ちょこっと補足をしますと、
一応元ネタは1696年の「セイラムの魔女裁判」です。
そこに「クルーシブル」やら「緋文字」やら「残酷女刑罰史」やら（汗）
色々ゴチャマゼにして描いてみました。
（　時代考証的な細かい矛盾点は多めにみてｸﾀﾞｻｲ（汗）　）

この度もご購読頂きまして、ありがとうございました。
楽しんで頂ければ幸いです。

さて次回は・・・・
そろそろ中断している昨年夏のお話の続きを・・・・
でも、今回の様な歴史シリーズも続けてみたいんですが…

ではまた。



発　行：サークルＯＵＴＥＲＷＯＲＬＤ
発行人：ちばしゅう（千葉秀作）
表紙デザイン：剣崎ぢゅん
発行日：2008年12月30日（初版）
2011年4月29日（改訂再版）
印刷所：コーシン出版（改訂再版）
連絡先：c_outerworld@jcom.home.ne.jp

http://c10000199.circle.ms/cr/CircleHome.aspx

ADULT ONLY!

CAUTION!

CAUTION!

CAUTION!

CAUTION!

CAUTION!

CAUTION!

CAUTION!

CAUTION!

CAUTION!

ADULT ONLY!

CAUTION!

CAUTION!

CAUTION!

CAUTION!

CIRCLE

OUTERWORLD

MIDGARD

[haga1]

2008 WINTER